

令和6年度 商業振興補助事業審査委員会（第1回）議事録

- 1 日 時 令和6年4月25日(木)14時00分～16時15分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男 (中小企業診断士)
渡利 恭明 (中小企業診断士)
安食 静二 (INPIT神奈川県知財総合支援窓口)
鈴木 博明 (神奈川県産業労働局商業流通課主任専門員)
熊澤 彰 (横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長)
- 4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木主査、櫻井、熊野
- 5 傍聴者 1名

6 委員の紹介について

(1)委員の紹介について

令和5年度からの2年任期の途中だが、昨年度末に1名退任となったため、令和6年度より後任として新たに加わる委員の紹介。

(2)職務代理者の指名について

条例第3条第3項に、「委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する」と規定されていることから、委員長より大場委員を職務代理者として指名。

7 議事内容

(1)審査スケジュールについて

(事務局)

本日は、集客力向上モデル事業1団体、にぎわいづくりイベント事業5団体の審査を予定している。

(2)審査方法について

(事務局)

【集客力向上モデル事業】

集客力向上モデル事業は、商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業となっている。別添採点表に基づき4項目×各5点＝20点満点で評価を行い、審査委員の合計点数が70%を超えるものを採択する。

【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

(3)集客力向上モデル事業

・ドブ板通り商店街振興組合

質疑応答

(委員)

イベント時の来街人数5万人とあるが、どれくらいの期間を想定しているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

フラッグの柄を季節毎の年4回に分け、1回あたり5万人を想定している。

(委員)

インバウンドはそのうち何割くらいになるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

コロナ以降減っていたが人が戻ってきており、そのために話題性のあるものを取り入れている。

(委員)

来街者は若年層が多いと思うが、年配の方は以前より減っているか。

また、年配の方をターゲットにしているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

年配の方が減っているということはない。

幅広い世代を取り入れるために、新しいことをやっている。

(委員)

フラッグのARは全て同じデザインなのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

全て同じデザインだが、季節毎に変更していく。

別途、町の象徴的なものである看板やマンホールにARを実装していきたい。

(委員)

各店舗の中でARが動くような仕掛けはないか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

予算の関係で、各店舗で作るのは難しい。

AR付きの缶バッジを買うと見ることができるなど、購買に繋がるものを作った方が良いと考えている。

(委員)

せっかくやるのであれば、各店舗も乗っかって皆でARを楽しめるようにした方がよいのではないか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

補助金を使って行うキャンペーンなので、まずは最小限のことを提供して、その後で各店舗でさらにARを活用してもらう方がよいと考えている。

(委員)

システムのランニングコストも含めてこの金額になるのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

システムの使用料も含めてこの金額になる。

(委員)

では、システムはあるので参加したい店舗があればさらに上乘せで乗っかることができるということか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

おっしゃる通り。

新しいことをやって商店街を忘れないでいただくことが大事だと思っているので、今回はARに絡めて各店舗が挑戦できたら面白いのではと考えている。

(4)にぎわいづくりイベント事業

質疑応答

・ドブ板通り商店街振興組合

(委員)

ジブリ展の影響はどうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

キャンペーンのスタンプ台を設けているが、各店舗の売り上げにはあまり結びついていないよう。

(委員)

ドブ板に行くことが目的になると思うので、しかけ次第で呼び込めるのではないか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

検討していく。

(委員)

ジブリ展とドブ板では客層が違うが、意識的にドブ板で食事しようと思うような何かがあればと思う。美術館周辺に飲食店は少ない。

(ドブ板通り商店街振興組合)

もう少し工夫できる部分があるかもしれない。

(委員)

年間行事で何かあれば教えて頂きたい。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ハロウィンについては、店舗を回るスタンプラリーを実施していて、全部回ると景品を貰えるようにしている。

仮装なども華美になってきているので、もう一工夫できたらと考えている。

(委員)

ハロウィンとクリスマス以外では、にぎやかしのようなイベントは開催しない方向か。

(ドブ板通り商店街振興組合)

年4回ドブ板バザールをやっているが、店舗の前で大道芸やジャズを流すことを検討している。

・久里浜仲通り商店街振興組合

質疑応答

(委員)

数年前に、商店街が高齢化しているのもう少し若い層をとという話があったが、どのような状況か。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

普段の人通りは少ないが、戸板市については売り上げが見込めている。現在は物販がメインとなっており、美容院などの参加を増やし、戸板市の時に割引などやってほしいと考えている。

(委員)

例えば七夕などのイベントの時に若い人を呼び込む取り組みはあるか。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

こいのぼりを商店街の通りに掲げたり、七夕では近所の保育園に声をかけ園児の短冊を飾るなどしている。園児の作品があると親子連れで訪れる方が増え賑やかになる

(委員)

今回の企画の中でXの活用とあるが、どういった状況か。

外部の方の協力を仰ぎながら活用していくのはどうか。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

店舗は高齢者が多いので、検討していきたい。

ドリームポイントという商店街のポイントをスマートフォンで運用しているが、会員が多くなってきているので、ここから情報を発信するなどしていきたい。

・野比駅前商店会

質疑応答

(委員)

「やさしいおもてなし」はどのような状況か。

(野比駅前商店会)

キャッチフレーズとなっているが、実際に形にして何かをしているわけではない。

(委員)

すいちゃんというキャラクターは皆さんに親しまれているか。

(野比駅前商店会)

去年も浸透する年にしたいと思っていたが、タウン誌に載ったり缶バッジを作ったりして貰ったりということがあった。

今年はTシャツを作って各店に配ることを決めている。

最終的には各店にすいちゃん商品を販売してもらうことを目標としている。

また、ステッカーを配って店頭には貼ってもらう予定である。

(委員)

ブランディングやマーケティングの無料相談もあるので、ご相談いただきたいと思う。

(野比駅前商店会)

承知した。

(委員)

スペースを活かしたイベントなどは考えているか。

(野比駅前商店会)

難しい状況である。

(委員)

花見と絡めて春のバザールを開催するのはどうか。

(野比駅前商店会)

面白いと思うが、難しい状況。

やってみたらどうか声掛けしてみたいと思う。

(委員)

特別に何か作らなくても、「これがうちのすいちゃん商品です。」というようなところから始めて、やさしいおもてなしのスローガンに繋げていくのはどうか。水仙の球根をプレゼントしたり、水仙の花〇〇コンテストなどをしてみたらどうか。

・若松新生商業組合

質疑応答、

(委員)

第21回横須賀ブラジャー祭りの結果はどうだったか。

(若松新生商業組合)

大成功だった。若松マーケット始まって以来のスタンプラリーと外飲みを行い、もっとやって欲しいという言葉をいただいた。

(委員)

今年は、前回は踏まえてさらにこうしたいと思うことはあるか。

(若松新生商業組合)

去年は昼市ができなかったなので、今年は開催したい。

(委員)

昼市はどんなことを予定していたか。

(若松新生商業組合)

テーブルを外に置いて飲食を販売し、ステージを作って音楽を披露してもらうことを想定していた。

(委員)

どういった年代の方が来たか。

(若松新生商業組合)

今回アンケートを実施し、初めて来た方が80%で、若い人や家族連れ、年配の方まで幅広い年代が来ていた。

(委員)

市外からも来ていたか。

(若松新生商業組合)

市外からも来ていて、東京から参加した人もいた。

(委員)

そういった人達はどのようにイベントを知ったのか。

(若松新生商業組合)

SNS から情報を得たと思われる。

(委員)

従来から問題だった、抽選会場の当番や昼に店舗を開けるのが難しいことについて、状況は変わったか。

(若松新生商業組合)

若い人達が役員に入り、お手伝いを依頼したりして対応できた。

(委員)

設置や片付け、物品集めは難しいと思うがどうだったか。

(若松新生商業組合)

テーブルを貸りたり、ジブリさんが千と千尋の赤い提灯を飾ってくれたので、良い雰囲気だった。

(委員)

メディアへの取り上げ方はどうだったか。

(若松新生商業組合)

ヤフーやタウンニュースで取り上げてもらった。

また、各店舗の SNS をやっている人達が投稿したり、ポスターを久里浜周辺まで貼りに行ったりした。

(委員)

その他のメディアではなかなか取り上げてもらえない状況か。

(若松新生商業組合)

まだもう少し、大きいメディアには難しい。

(委員)

メディア戦略という部分で、横須賀市と協力しながら認知度を上げていく必要があるのではないか。

(若松新生商業組合)

横須賀市からも、駅にポスターを置いたり、デジタル広告で周知したりと協力してもらった。

店舗がドアを開けて営業してくれたので、中が見えて新規のお客さんが入りやすかった。

(委員)

その時のお客さんがリピーターとして来てくれたか。

(若松新生商業組合)

それはこれから見ていく必要がある。

抽選会で当たった商品券を持って、また来て欲しいと思っている。

・千日通商店街振興組合

質疑応答

(委員)

DeNA 応援キャンペーンとあるが、盛り上がるか。

(千日通商店街振興組合)

勝てば盛り上がる。

優勝すればチケットの購入権やサインボールなどをプレゼントするようなことを追加で検討している。

商店じゃない店舗にも声掛けして、協力してもらえよう検討している。

(委員)

希望調書に当選者へのアンケート調査の拡充とあるが、今までも実施していたか。

(千日通商店街振興組合)

前回の審査会で言われ、去年に引き続き今年もやる。

イベント時に飲食店のレシートを持参する人がほとんどで、偏りがあったため、今回はカテゴリー分けをして物販と飲食どちらもレシートを提示してもらうようにしようと考えている。

(委員)

飲食以外でどのようにベイスターズで盛り上がりませんか。

(千日通商店街振興組合)

店舗に応募箱を置いてもらい、街路灯につけているフラッグを飾っている。

(委員)

イルミネーションについてはどのような状況か。

(千日通商店街振興組合)

再開発の関係でまだどうなるか分からないが、イルミネーションで街を盛り上げて、明るくなるように装飾する予定でいる。

(委員)

恐らく暫く仮囲いがあるが、それを電飾してもらうなどできたらよいのではないか。

(千日通商店街振興組合)

イベントに使えるスペースがあれば欲しいというような話はしているが、結論には至っていない。

・若松商店街振興組合

質疑応答

(委員)

イルミネーションに関して、前年度からの改正に来街者参加型の斬新なしかけ、メインストリートへのしかけとあるがどのようなものか。

(若松商店街振興組合)

4 商店街で連携して開催しており、これから具体的な内容を検討していく。

(委員)

以前から工夫した部分はあるか。

(若松商店街振興組合)

以前はイルミネーションを点灯するだけだったが、一昨年はスマートフォンで撮影した写真を応募してもらい、当選者に景品を渡した。昨年は4商店街合同でフォトコンテストを開催し、10点選んで展示をした。

(委員)

さらに応募者を増やすための方法を検討していくのか。

(若松商店街振興組合)

これから検討していく。

(委員)

昨年祭礼が復活したが、コロナ前と比べてどうか。

(若松商店街振興組合)

参加者や見に来る人がだいぶ増えた。

(委員)

屋台が出ると商店街の商売ではマイナス面もあるか。

(若松商店街振興組合)

屋台が出ているので呼び込みなどは難しい。

多くの方が来るので、普段来ない人が店舗を知ってリピーターとして来てくれればよいと思う。

(委員)

普段来ない人達向けの品揃えなどは見込めないか。

(若松商店街振興組合)

歩道が狭くなるので難しい。

(委員)

店舗でどんなものが売れるか共有し合ったり、商店街で情報収集できればよいのではないか。

(若松商店街振興組合)

飲料などを販売すれば売り上げに繋がるのではないかと思うが、取り扱い店舗が少ないので難しい。

(5)その他

(事務局)

ドブ板通り商店街振興組合の採択の結果、採択(委員5名で100点中89点)今後の審査会スケジュールについては、第4回までは日程を決定。第5回については、申請状況等を見ながら後日調整をさせていただきます。

以上で商業振興補助事業(第1回)を終了する。

商業振興補助事業審査委員会 次第

日 時 令和6年4月25日(木) 14時00分～

会 場 横須賀市役所 2号館 6階 261会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

ア 集客力向上モデル事業

イ にぎわいづくりイベント事業

(2) その他

3 閉 会

商業振興補助事業審査委員会条例

(設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

(総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

(補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めたときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備（第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年3月31日大蔵省令第15号）で規定する耐用年数3年以内のものに限る。）の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費（開催案内、宣伝ポスター等）

(5) 教材費（テキスト等事業の実施に直接必要なもの）

(6) 報償費（講師謝金、商店街モニター謝金等）

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

（補助金額）

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額 ÷ 2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額 ÷ 2	50万円

2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

（申請手続き等）

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
 - (2) 商店街団体会員名簿
 - (3) 当該事業の実施について議決した總會等の議事録の写
 - (4) その他市長が必要と認める書類
- (書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書(別記様式)
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

2 生き生き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:00 ~ 14:05	開会あいさつ、審査会実施方法の確認等					
4-1	14:05 ~ 14:35	○				ドブ板通り商店街振興組合	・ドブ板スカジャンARストリート&フラッグ作成
5-1	14:35 ~ 14:50				○	ドブ板通り商店街振興組合	・ジブリ展 IN ドブ板イベント ・ハロウィンフェスティバル ・ドブ板クリスマスセール
5-2	14:50 ~ 15:05				○	久里浜仲通り商店街振興組合	・戸板市セール ・ダイレクトメール配送業務 ・寄付による鯉のぼり飾り ・七夕短冊飾り
	15:05 ~ 15:15	休憩(10分)					
5-3	15:15 ~ 15:30				○	野比駅前商店会	・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウィンターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
5-4	15:30 ~ 15:45				○	若松新生商業組合	・第21回・第22回 横須賀ブラジャーまつり
5-5	15:45 ~ 16:00				○	千日通商店街振興組合	・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
5-6	16:00 ~ 16:15				○	若松商店街振興組合	・中央地区下町祭礼 ・街区内アーケード等に提灯装飾事業 ・イルミネーション装飾事業

1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

(1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年(予定)
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

(2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

(3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点=20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

(例) 審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

⇒ 70%を超える事業

① 採択 (補助率 2 / 3) (採択にあたって条件を付すものを含みます)

⇒ 70%以下の事業

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業 (販売促進を伴うイベント等の事業)
⇒ にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付 (補助率 1 / 3)

(4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

集客力向上モデル事業 希望調書

資料 4

4月25日分

NO.	審査実施時間	団体名	事業名
1	14:05 ~ 14:35	ドブ板通り商店街振興組合	ドブ板スカジャンARストリート&フラッグ作成

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書
(集客力向上モデル事業)

○申請者

団体名	ドブ板通り商店街振興組合	会員数	76	組織形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
住所	●●●●●●●●	にぎわいづくり イベント事業		■ 申請あり <input type="checkbox"/> 申請なし	
代表者	●●●●●●●●				
記入者	●●●●●●●●	TEL	●●●●●●●●		
		E-mail	●●●●●●●●		

○事業計画

事業名
ドブ板スカジャン AR ストリート&フラッグ作成

※事業内容は、審査会にて商店会より委員へ説明していただきます（冒頭 約5～10分）。

この希望調書のほか、補足資料やイメージ画像がある場合は、審査会の前日 12:00 までに商業振興課までメールで送付するか、当日に 8 部 印刷してお持ちください。

※すべて必須項目 ※「採択実績」は実績がない場合は記入不要 ※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

実施目的 ・なぜ行うのか ・実施の経緯	今や観光客への来客誘致に必須となった体験型消費。ドブ板通りでも新型コロナウイルス感染症の規制解除にともないナイトツアー・スタンプラリーなどの体験型消費が増加しています。
	また、オリンピック以降スカジャンへのニーズは益々高まりスカジャンへのニーズは益々高まりスカジャンをテーマにした取り組みは更に求められています。そんな中、昨年開催された浦賀パワー！フェスティバルではスカジャンと AR を掛け合わせた仕掛けが好評を博し、刺繍だけではなくスカジャン体験が受け入れられつつあります。
実施内容 (内容・規模・人数等を具体的に記入)	フラッグやマンホールなど街のアイコンにスカジャン AR を実装。
	また、スカジャン展以降の人気アイテムスカジャン缶バッジにも AR を実装。それらをノベルティとしたお買い物キャンペーンを行い、話題化、スカジャン体験の充足を図ります。
実施時期	
実施場所	ドブ板通り街区・フォトスポット・マンホール・ステーション
対象者	市外/県外からの来街者・訪日外国人
★新規性・独創性 「ここが新しい！」 「ここが他にはない！」 というポイント	スカジャンと AR を掛け合わせたスカジャン体験プロジェクトによる、
	スカジャン発祥の地としてのさらなる話題提供

★売上効果 (どのように商店街への誘客や各店の売上増加につなげるか)	ARのアイコンを商店街各店舗に設置することにより		
	各店の売り上げに寄与する。		
広報手段	ホームページ SNS		
広報範囲	国内 国外	広報対象人数	1,000,000人
【事業効果】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	50,000人	通常時	5,000人
【目標】 この事業により商店街がどのように活性化されると考えるか	インバウンドを誘致により国外から来日する観光客が集まり、		
	コロナ以前を超えた集客が実現される。		
	また、国内のリピーター促進。		
★今後の展開	アニメ・ゲーム等のコラボ時にARを活用したこれまでにない展開をする		
※継続性は必須条件です			
事業費と内訳	費目	金額	備考
	委託費	700,000	AR実装費
	報償費	50,000	グッズ作成費
	装飾費	550,000	フラッグ作成費 (70枚)
	合計	1,300,000	【市:事務処理欄】(1,300,000)×2/3 補助金申請額 866,000円
採択実績	過去3年間で集客力向上モデル事業の採択実績がある団体は、その事業の結果や経過を記入して下さい		
	事業名		
	結果や経過		

(集客力向上モデル事業)

※審査会後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、商工相談員の派遣が可能ですので、ぜひご活用ください(初回費用無料)。

商工相談員の派遣を希望する 商工相談員の派遣を希望しない

にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 5

4月25日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:35 ~ 14:50	ドブ板通り商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・ジブリ展 INドブ板イベント ・ハロウィンフェスティバル ・ドブ板クリスマスセール
2	14:50 ~ 15:05	久里浜仲通り商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・戸板市セール ・ダイレクトメール配送業務 ・寄付による鯉のぼり飾り ・七夕短冊飾り
3	15:15 ~ 15:30	野比駅前商店会	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウィンターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
4	15:30 ~ 15:45	若松新生商業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・第21回・第22回 横須賀ブラジャーまつり
5	15:45 ~ 16:00	千日通商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
6	16:00 ~ 16:15	若松商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地区下町祭礼 街区内アーケード等に提灯装飾事業 ・イルミネーション装飾事業

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	ドブ板通り商店街振興組合		会員数	76
住所	[REDACTED]		組織形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
	[REDACTED]	E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1290000 円) 1/3→	(430,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

○※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	ツアリエ IN トア板イベント
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	ツアリエに連動し、高店街各店舗にて スタンプラリー台紙を展示すると、お得な割引が 受けられる。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ツアリエ期間中、8ヶ所のスタンプラリーを巡り トア板ステーションにてのスタンプ台より、 トア板の応援参加店舗にて割引が受けられる 期間中 12万人を想定し113020、この3ヶ月間で 多くの来街者見込みから店舗の売上増加を 期待する。
実施時期	令和6年3月20日～令和6年6月18日
実施場所	トア板通りの徒歩
事業のセールスポイント	トア板独自のチラシ・ポスターを作成し、 期間中、トア板ステーションは休みなく実施する

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	ツアバリ展 IN トア板 イベント		
広報範囲	県内全域	広報対象人数	300000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	ツアバリ展期間中、トア板に来街してもらい、会員店舗での買物 売上増大、終了後にもリポーター		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	100,000 人	通常時	5000 人
今後の展開	週末には、多くの来街者か訪れ、若者(特に10代~40代) で溢れこえる。終了後にも、スクランARストリートとして、 多くの来街者か来るよう努力する。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	報償費	90000	アルバイト代
	印刷代	50000	ホスナー・チラシ
	合計	140000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. 2	事業名
2	ハロウィーンフェスティバル
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	横須賀市内商店街と連動し、市商店街連合会 が、作成予定のホスター・クラツ・ミニコミ誌等と 仮装親子が、期間中、市内全域を回遊。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	小恒例となっている。スタンプラリー、バルーンプレゼント 等を実施。 又、フォトスポットも多く設けて、トア板通り内を 回遊してもらう。 小恒例行事となっているハロウィーンは、年々増加傾向 にあり、中央地区と連動して、更なる来街者増を期待
実施時期	令和6年10月27日 予定
実施場所	トア板通り街区
事業のセールスポイント	子供達が喜ぶ、バルーンプレゼントや、スタンプラリー 景品の贈呈とトア板ならではのフォトスポット

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ハロウィーンフェスティバル		
広報範囲	市内商店街の共同PR <small>HP告知</small>	広報対象人数	3,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	中央地区と運動し、日遊してもらう多くの親子仮装を トア板通りも認知してもらう。		
【目標】 商店街で掲げる目標	トア板通り街匠に、スタンプラリーで足を運んでもらい、 各店舗を認知してもらう。又、昨年コンテストでも認知があまり なかった。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,500 人	通常時	1,000 人
今後の展開	仮装子供達のフォトスポットとして、異国情緒ある。 トア板をアピール		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	120,000	菓子代、スタンプラリー用品、ハロウィン他
	印刷代	10,000	スタンプラリー
	合計	130,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	トア板クリスマスセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	クリスマスセールで「カラホン抽選会」を実施する事により トア板各店舗の売上増大
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	カラホン抽選会にて、特賞、1等～5等まで行われ 抽選参加賞もあり、トア板各店舗で販売する景品券により、 リポーターが見込まれ、30+5類になり、イベント 参加人数も本年は7000人を目標に、各店舗 売上増となる様に努力している。 又、本年は、毎年マシキ化しているセールの景品にも 委員会にて検討し、来街買物させる方々に 喜ばせる景品等用意する。
実施時期	令和6年11月24日～令和6年12月25日
実施場所	トア板通り街区
事業のセールスポイント	景品の中に、特賞として、トア板オリジナルスカジャン や、ここにしかない、お寺り札等をカラホンの中に入れて 毎年好評である。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3			
広報手段	トフ板 クリスマスセール			
広報範囲	市内外	広報対象人数	8,000 人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	特別巻のスクラン、お守り等は例年人気があるが、本年は新たに 委員会と検討し、来街者に			
【目標】 商店街で掲げる目標	クリスマスセール参加店舗の拡大			
【目標】 実施時の来街人数 またはパト参加人数	7,000 人	通常時	2,000 人	
今後の展開	例年同様、トフ板独自のオリジナル商品の提供 若手メンバーと検討し、会費店舗の売上アップも 期待する。			
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考	
	報償費	720,000	参加費、果物代、アロマ代、商品券	
	広告宣伝費	180,000	HP告知、ミニコミ誌	
	消耗品費	100,000	小物代	
	印刷代	110,000	ポスター、チラシ、抽選券、商品券	
	合計	1,020,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	久里浜仲通り商店街振興組合		会員数	45
住所	[REDACTED]		組織形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人
代表者	[REDACTED]			<input type="checkbox"/> 任意
記入者	[REDACTED]	TEL	TEL 046 (836) 3 0 7 6	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(3,000,000 円) 1/3 → (1,000,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 No. /	事業名 戸坂市セール
/	戸坂市セール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	本商店街の戸坂市セールは50年以上前より 続いて表出町月半と月末にて 昭和レトロ的な物販セールです。 物販店においては販売額が見込める 行事として実施しております
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	当店は集客は多く見込める。 奇数月の月半の戸坂市はサボンの抽選会 を行い、休日の商品券商店街の商品券など またマゴの当り券が有り入賞の多い サボンとなっております
実施時期	月半 月末 X 12ヶ月
実施場所	仲通りア-ケド内
事業のセールスポイント	お買得な品揃えが多く。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	チラシの新聞折込 ・ 商店街の X のアカウントでの周知		
広報範囲	久里浜・浦賀・下浦 地区	広報対象人数	20,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	商店街の X のアカウントを開設		
【目標】 商店街で掲げる目標	安心して買える顔と、顔の面した温かみのある温かみのある商店街		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	600人	通常時	300人
今後の展開	商店街に対する意見を集めて、改善できるものは早急に対応する		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	広告印刷費	1,800,000	
	広告折込費	1,000,000	
	合計	2,800,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	ダイレクトX-1V 配達業務
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	ドリームX-1V以上の上位顧客1000名に 年末のお買得商品のダイレクトX-1V を送ります 上位顧客の取込業務です
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	各店のお買得情報を特定の顧客 に自宅に情報を届ける 1000部
実施時期	毎年11月中頃
実施場所	
事業のセールスポイ ント	お買得情報の届けて 集客を狙う

以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ダイレクトメール		
広報範囲	久里浜近隣中心	広報対象人数	1,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	安心して買える顔と、顔の面した温かみのある温かみのある商店街		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	600人	通常時	300人
今後の展開	商店街に対する意見を集めて、改善できるものは早急に対応する		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	DM 配送費	100,000	
	DM 製作費	100,000	
	合計	200,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	寄付による金鯉のぼりマーケット内に飾り
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	近隣の保育園が多数あり
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	朝の保育園児の散歩が多く 金鯉のぼりが大変人気で喜ぶの 高岩街のにぎわいに貢献します
実施時期	4月中～5月初
実施場所	マーケット内
事業のセールスポイ ント	集客狙う。

以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	チラシの新聞折込 ・ 商店街の X のアカウントでの周知		
広報範囲	久里浜・浦賀・下浦 地区	広報対象人数	20,000人 (戸板市と連動)
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	安心して買える顔と、顔の面した温かみのある温かみのある商店街		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	600人	通常時	300人
今後の展開	商店街に対する意見を集めて、改善できるものは早急に対応する		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	こいのぼり ディスプレイ代	50,000	
	合計	50,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	七夕短冊かざり
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	久里浜地区の保育園・幼稚園の 園児に七夕に短冊を依頼し アクト内にて釣り下げて 展示する
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	久里浜地区の保育園・幼稚園児 500名ほどに依頼し 展示には親子・保護者の 来訪が多く見込み
実施時期	6月末～7月初
実施場所	アクト内全2.
事業のセールスポイ ント	お多くの来訪

以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	チラシの新聞折込 ・ 商店街の X のアカウントでの周知		
広報範囲	久里浜・浦賀・下浦 地区	広報対象人数	20,000人 (戸板市と連動)
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	安心して買える顔と、顔の面した温かみのある温かみのある商店街		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	600人	通常時	300人
今後の展開	商店街に対する意見を集めて、改善できるものは早急に対応する		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	七夕短冊の 製作費	50,000	
	合計	50,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	野比駅前商店会		会員数	42
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1450000 円) 1/3→ (483,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
	(千円未満切捨て)

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する <input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
①	頑張ります宣言売出し、サマーセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。 2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、抽選による商店会で使用可能な商品券のプレゼント。(1等5000円、2等1000円、3等の500円の商品券の贈呈) 3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR 4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。
実施時期	令和6年7月中旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	マスコットキャラクターを積極的に活用し、多くの人に知ってもらう。子どもや住民に親しまれる商店街を目指す。 (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	①		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進につなげる。		
	お客さんの喜ぶ景品等を用意する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,000人	通常時	1,000人
今後の展開	マスコットキャラクターを積極的に活用し、お客さんへの周知をさらに広げる。		
	マスコットキャラクターを活用したグッズなどを作成し、商店会の景品などに活用する		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	260,000円	チラシ、応募券
	広告宣伝費	70,000円	新聞折込み
	賞品	300,000円	景品等
	合計	630,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して事巻い

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
②	頑張ります宣言売出し、ウインターセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。 2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、抽選による商店会商品のプレゼント。(1等1万円、2等4000円の商品・利用券の贈呈) 3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR 4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。 5、神奈川県のパremium商品券事業の導入。
実施時期	令和6年12月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	プレミアム商品券を活用し、各商店の売り出しと合わせて、お得に買い物ができること。マスコットキャラクターを積極的に活用し、子供や住民に親しまれる地元に着した商店会を目指す。 <small>(にぎわいづくりイベント事業)</small>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	②		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進につなげる。 お客様の喜ぶ景品等を用意する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,000人	通常時	1,000人
今後の展開	マスコットキャラクターを積極的に活用し、お客様への周知をさらに広げる。 マスコットキャラクターを活用したグッズなどを作成し、商店会の景品などに活用する		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	260,000円	
	広告宣伝費	70,000円	
	賞品	300,000円	
	合計	630,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して事

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
③	頑張ります宣 売出し、春のバザール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 2、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR。 3、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。
実施時期	令和7年2月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	マスコットキャラクターを積極的に活用し、子供や住民に親しまれる地元に着目した商店会を目指す。 (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	③		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進 つなげる。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,000人	通常時	1,000人
今後の展開	マスコットキャラクターを積極的に活用し、お客さんへの周知をさらに 広げる。 マスコットキャラクターを活用したグッズなどを作成し、商店会の景品 などに活用する。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	120,000円	
	広告宣伝費	70,000円	
	合計	190,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	若松新生商業組合 (若松マーケット)		会員数	71
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input type="checkbox"/> 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,350,000 円) 1/3→ (783,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です (初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する <input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	第21回・第22回 横須賀ブラジャーまつり
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	若松マーケット発祥のオリジナルカクテル「横須賀ブラジャー」のさらなる知名度アップを目指す。 コロナ禍により年1回に縮小して行っていた本イベントを年2回に戻すことで、若松マーケットの集客・活気につなげる。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを具体的に記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・商品券などが当たる抽選会を行う ・横須賀ブラジャーの試飲会を行う ・若松マーケットの昭和の雰囲気づくり (提灯掛替) ・飲食スペースの設置 (第21回) ・スタンプラリー (第21回) ※第22回については21回の結果を踏まえて検討する
実施時期	第21回 4月18～20日、第22回 11月頃
実施場所	若松マーケット
事業のセールスポイント	昭和のノスタルジックな雰囲気が漂う「若松マーケット」とオリジナルカクテル「横須賀ブラジャー」は、他にない強みである。まずは知名度を高め、来街を促したい。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	ポスター・HP・SNSでの告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	10,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	コロナ禍により年1回に縮小していたが、今年度より春の開催を 復活する。また、春についてはマーケット内に飲食スペースを設置、 参加店によるスタンプラリーを行う。		
【目標】 商店街で掲げる目標	来街者の増加、固定客の獲得、常連客の再来街アップ		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	春 延べ 1,500 人 秋 延べ 1,500 人	通常時	200 人
今後の展開	まずは人の流れをつくり、来街者の増加を図る。 それにより固定客の獲得や常連客の再来街を促し、マーケット全体の 活性化につなげる。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	提灯	700,000	アーチ・店頭用
	報酬費	500,000	人件費
	広報費	150,000	ポスター・HP
	試飲会・抽選会関連	700,000	試飲用材料・景品等
	夜市・スタンプラリー関連	100,000	テーブル・配送費等
	その他	200,000	消耗品等
	合計	2,350,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 6 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査
 (にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	千日通商店街振興組合		会員数	
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人
代表者	[REDACTED]			<input type="checkbox"/> 任意
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,200,000 円) 1/3→	(733,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	街路灯イルミネーション
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	季節に合わせた装飾をすることで商店街の活性化を推進する。
	来街者や市民にひと時の憩いと安らぎと安全を提供する。
	10年以上前からの恒例行事です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	イルミネーションの設置。
	イルミネーションに個店のプレートを付し、PR。
実施時期	令和6年11月～令和7年2月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯
事業のセールスポイント	イルミネーションに個店プレートを取付け、売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	イルミネーション自体が広報。		
広報範囲	商店街内	広報対象人数	来街者全員
前年度からの改善 (定例事業の場合)	LEDの交換、補充		
	プレートの交換		
【目標】 商店街で掲げる目標	安心安全な商店街とする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1, 200人	通常時	1, 000人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	今年度から数年間、再開発エリア周辺の電飾が不透明になっています。		
	再開発関係者からは店舗の照明とかがなく暗いので、より明るくして		
	欲しいとの要望があり、協議していきます。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	装飾費	1,300,000円	イルミネーション代
	合計	1,300,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	地元関連球団である横浜DeNAベイスターズを 商店街をあげて応援する。 5年以上前からの恒例行事です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	街路灯に横浜DeNAベイスターズのフラッグを掲出し、応援する。 商店街加盟の店舗で回遊しお買物していただいたお客様に 横浜スタジアムのチケットプレゼント。 物販、飲食店以外の店舗もプレゼントの対象とする。 横浜DeNAベイスターズに関連したグッズもプレゼント。
実施時期	令和6年4月～令和6年10月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯、加盟店舗
事業のセールスポイント	店舗の回遊による個店の売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	チラシ、ポスター、フラッグ		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	当選者へのアンケート調査の拡充。		
	参加店をカテゴリー分けし、レシートの偏りを解消。		
	チケット値上げの為、応募金額のUP		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街をあげて横浜DeNAベイスターズを応援。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	8,000人	通常時	0人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	CSや日本シリーズの購入権プレゼント		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	850,000円	
	印刷費	50,000円	
	合計	900,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	中央地区下町祭礼 街区内アーケード等に提灯装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>コロナ禍により3年間開催を自粛していたが昨年4年ぶりに復活し多くの住民等の方々が待ち望んだ祭礼を本年も開催します。</p> <p>主は若松町会等の町会主催行事ですが、協賛して実施します。</p> <p>当日の歩道は多くの屋台と来街者であふれ店舗の営業には支障がでますが、来街者を呼び戻すきっかけづくりにしたい。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>近隣3商店街が連携して祭礼1週間前より中央大通りを中心としたアーケード下等に統一感ある提灯を掲出して祭りムードを盛り上げてPRし、事前告知効果等による来街者増を図りたい。</p> <p>町会主体のイベントですが活気ある商店街を演出して活性化の一環として実施して盛り上げたい。</p> <p>本番は5月25日(土)～26日(日)となり中央地区下町全体の祭礼です。</p> <p>祭礼イベントの来街者数 20,000人(イベント参加者含む)</p>
実施時期	5月18日(土)～5月26日(日)(1週間前より提灯を掲出してムードを盛り上げる)
実施場所	街区内アーケード下全てと全域に祭り提灯を掲出する
事業のセールスポイント	子供からシルバー層までの全ての年代層が楽しめる祭りです。参加する方々や観覧する来街者の方々が一体となり楽しんで頂ける祭礼イベントです。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	1週間前に提灯装飾・ポスター・ホームページ等		
広報範囲	商店街周辺エリア	広報対象人数	50,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	駅前の大型店の閉館による来街者減の歯止めとしてリピーター確保 来街者がリピーターとして繋げる為のサービス等も検討したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	売上 2% 増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	20,000人	通常時	11,000人
今後の展開	来街者を呼び戻しにぎわいを取り戻し活性化に繋げたい。 再開発により駅前大型店閉館による来街者減の歯止めにしたいたい。 新規顧客とリピーターを確保したい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	提灯装飾費	110,000	撤去費含む
	合計	110,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	イルミネーション装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>夜の来街者を呼び戻す対策と新規来街者を獲得する魅力の発信。</p> <p>再開発による駅前的大型店閉館による来街者減の歯止め対策。</p> <p>早期に活気ある商店街する為の対策として実施します。</p> <p>コロナ前に戻す為に未だ冷え込んでいる夜の活気を取り戻す事業です。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>中央大通りを近隣4商店街が連携して一体感のあるイルミネーション装飾を実施します。(省エネタイプLED電球を使用します)</p> <p>夕方の4時30分頃に点灯し中央駅前を最終バスが発車後消灯します。</p> <p>12月にはYデッキ周辺にてのクリスマスライブ等検討中。</p> <p>メインツリーに新しい仕掛けを検討中です。</p> <p>スマートフォンアプリを活用した斬新なイベントを検討中です。</p> <p>Yデッキ上や彫像ベンチを活用した関連装飾を検討中です。</p> <p>昨年も実施したイルミネーションの点灯式も検討したい。</p> <p>1日平均の来街者を12,000人 前年対比2%増を目指します。</p>
実施時期	令和6年11月1日～令和7年3月中旬位迄
実施場所	当商店街内 (街路樹9本・駅前広場メインツリー1本)
事業のセールスポイント	<p>県道横須賀三崎線沿いの一直線に伸びた中央大通りに、下町4商店街が連携した一体感のあるイルミネーションを演出しています。迫力ある幻想的なイルミネーション装飾です。多くの来街者に周遊して貰いたい。</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ポスター・ホームページ・タウンニュース等		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	200,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来街者参加型の斬新な仕掛けを創りたい。		
	更に電飾数を増球してより明るく幻想的にしたい。		
	メインツリーの台座に新しい仕掛けを創りたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店舗の売上 2% の増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	12,000人	通常時	11,000人
今後の展開	継続して4商店街連携して来街者数の増加を図りたい。		
	来街者参加型の楽しい仕掛けを創りたい。		
	メインツリーに斬新な仕掛けを検討したい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イルミネーション装飾	2,376,000	設営・撤去費含む
	合計	2,376,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい